令和８年度　危機管理学部 総合型選抜入学試験　総合問題試験　解答用紙

受　験　番　号					フ リ ガ ナ	
					氏　　名	

採点欄	合　　計

Ⅰ.　問１：　①

問２：ア：　h　　イ：　e　　ウ：　l　　エ：　d　　オ：　a

問３　Y　　問４　④　　問５　③

Ⅱ.　問１：　②　　問２：　生産年齢人口

問３：　②　　問４：　③　　問５：　限界集落

問６：【選択した領域：　　】別紙①

100

200

▲250

300

Ⅲ.　問１：　②　　問２：　②

問３：別紙②

50

問４：　③　　問５　障害者権利条約（障害者の権利に関する条約）

別紙①

【災害マネジメント領域】

今後、少子高齢化が進行すると、地域社会における防災の担い手が減少するという懸念がある。日本には、自主防災組織や消防団など、地域住民による防災組織が全国各地に存在し、防災活動において重要な役割を果たしている。特に、巨大災害が発生した際には、行政組織による救助活動や支援活動には限界が生じ、被災地の住民による自助・共助が重要になる。例えば、2011 年に発生した東日本大震災では、役場やその職員が被災し、行政組織が機能を失った地域もあり、住民同士による助け合いが災害発生直後には大きな役割を果たした。しかし、今後、そのような住民による活動を担う世代が減少し、自助や共助が機能しなくなる可能性がある。（293 文字）

【パブリックセキュリティ領域】

今後、少子高齢化が進行すると、労働力不足を補うために外国人労働者をより受入れるなどし、日本の人口構成が変化する可能性がある。外国人住民の増加は、文化や言語の違いなどにより、社会に新たな軋轢を生じさせる懸念がある。例えば、日本の法律や各種ルールを理解しないことによる、意図せぬ犯罪行為などが増加する可能性がある。外国人の受け入れを進める場合には、日本の法律やルールを理解してもらい、地域社会との交流を促し、外国人がコミュニティに溶け込むための取り組みが必要となる。そのためには、行政組織による取り組みだけでは不充分で、地域社会による日頃からの外国人との交流を促進していくための仕組み作りが重要となる。（299 文字）

【グローバルセキュリティ領域】

今後、少子高齢化が進行すると、日本の防衛を担う自衛隊員の確保がより困難になっていく懸念がある。現在でも、自衛隊の定員約 24 万人に対し、実際の隊員数は約 22 万人と、定員を満たせていない状況である。若者の人口が減ることにより、自衛隊の隊員数の減少がより進む可能性がある。このような状況に対応するためには、限られた人員でより高い防衛力を確保するために、防衛備品の高度化や新たな防衛装備の導入などが求められることになる。例えば、現在、ウクライナで発生しているロシアによる攻撃では、ドローンによる攻撃など、新たな技術を用いた戦闘が行われている。日本でも、人員不足を補うための、新たな技術の開発、導入が求められる。（299 文字）

【情報セキュリティ領域】

今後、少子高齢化が進行すると、情報セキュリティ分野において高齢者などをターゲットとしたサイバー犯罪が増加する懸念がある。今後、日本では単身高齢者世帯の増加が見込まれている。そのような高齢者は、社会的に孤立することも多く、その様な人々を対象とした情報セキュリティに関する啓発活動を行わなければ、サイバー犯罪防止などに関する情報に接することなく、被害に遭ってしまう可能性がある。現在でも、高齢者をターゲットとし

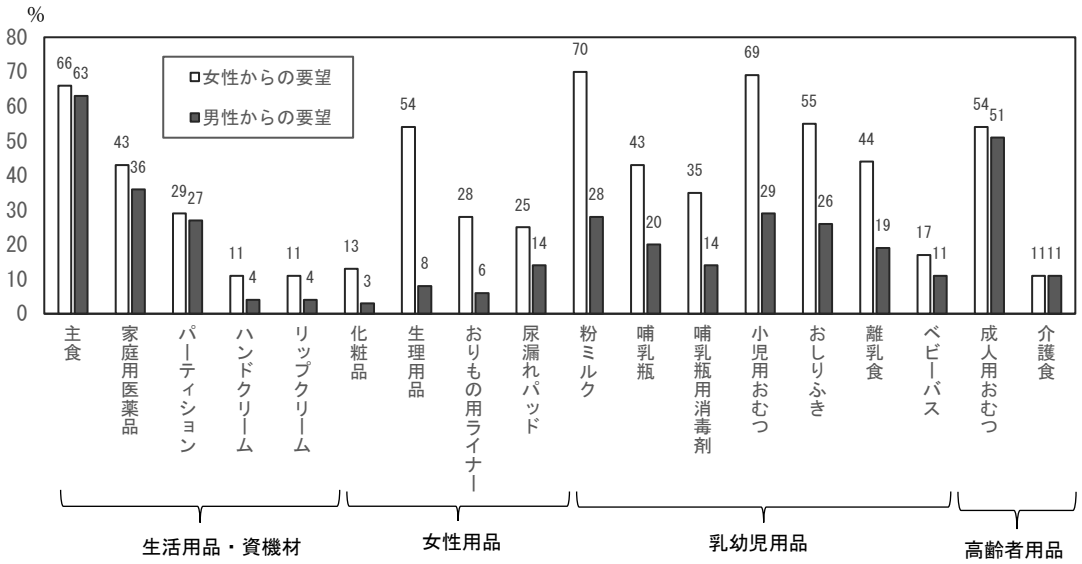
別紙①

た、振り込め詐欺やロマンス詐欺などが多発している。今後、AI などを利用し、犯罪がより高度化する可能性もあり、高齢者を対象としたサイバーセキュリティー対策は重要性を増している。（289 文字）

別紙②

Ⅲ.

問３　下線部（ウ）に関連して、下図は東日本大震災において、内閣府が岩手県、宮城県、福島県の各県の市町村を対象に実施した調査の結果の一部である。備蓄品や支援物資に関して、特に被災者から要望のあったものが性別ごとに示されている。市町村が防災上整備する備蓄品や支援物資に関して、図から読み取れる問題点を 50 字以上 75 字以下で説明しなさい。



（備考）１．内閣府「男女共同参画の視点による震災対応状況調査」（平成23年）より作成。
２．調査対象は、被災3県「岩手県・宮城県・福島県」の108地方公共団体の男女共同参画担当。調査時期は平成23年11月。

出典：内閣府男女共同参画社会局、2012 年『平成 24 年版 男女共同参画社会白書』15 頁をもとに作成。

解答例

・生理用品やおりもの用ライナーのようにほとんど女性しか要望していないものもあり、備蓄や支援物資に女性のニーズが反映されにくい状況が伺われる。（69 字）

・要望のあった備蓄品や支援物資には、男性より女性が多く要望しているものが少なくなく、既存の備蓄や支援物資が男性目線で決められている状況が伺われる。（72 字）